講義名	対)日本事情Ｄ【留学生科目】				
担当教員	福岡　寿美子				
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 ２時限		授業形態	演習	
履修開始年次	２年生	単位数	2	備考	

主題と概要

日本人学生および留学生が、現代の日本事情、すなわち現代の日本文化および日本社会等について学ぶ。
前半は、日本で実際に生活・学習している大学生と留学生との交流に基づき、彼らの視点から作成されたテキストを用いて、各テーマについて学ぶ。
現代の日本人学生が日本についてどのように考え、留学生に何を発信しようとしているのか、また日本に留学してきた外国人学生が日本の何について知りたがっているのかについて学ぶ。
これらの知識をもとに、後半は、日本人学生と留学生が、それぞれペアあるいはグループになってプロジェクトワークを行う。
主体的にテーマを設定し、ディスカッションをし、調査、資料収集、情報整理、分析をし、レジュメ等を作成し、口頭発表を行い、最後にレポートを作成し、冊子体にまとめる。
Peer Learning ピア・ラーニングを行う。

到達目標

日本人学生および留学生が、現代日本事情について、ペアワークあるいはグループワークを行うことによって、異文化接触、異文化交流、異文化理解をし、相互理解を深めることができるようになることを到達目標とする。
日本人学生および留学生が、コミュニケーション能力、ディスカッション能力、調査能力および資料収集能力、情報整理および分析能力、プレゼンテーション能力、レポート作成能力等々を高めることができるようになることを到達目標とする。
課題の作成および提出によって、日本人学生は、母語による日本語文章表現能力を高めることができるようになることを到達目標とする。
課題の作成および提出によって、留学生は、外国語としての日本語による文章表現能力を高めることができるようになることを到達目標とする。
日本人学生は、母語としての日本語および自国の文化・社会としての日本文化・社会を、世界の中の一つの言語、文化・社会としてとらえ、発信できる能力を高めることができるようになることを到達目標とする。
留学生は、外国語としての日本語および外国文化・社会としての日本文化・社会を学ぶことができることを到達目標とする。
方法論を学ぶことによって、さまざまな課題を設定し、問題解決能力をつけることができるようになることを到達目標とする。
各到達目標については、課題の提出、口頭発表、中間試験、期末試験等において、その到達度を測る。
日本人学生および留学生が考える学習を行うようになることを到達目標とする。

提出課題

準備学習シート、活動の記録、PPT資料・レジュメ、レポート等、授業中にその都度指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

各学生が提出した課題について、チェックおよびコメントを行い、次の授業において、講評、解説等を行い、フィードバックをする。

評価の基準

期末試験（20%）、中間試験（10%）、口頭発表（20%）、課題の提出（30%）、授業参加度（20%）等による総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とる。
全授業回数の１／３以上欠席した場合は、試験を受けることができない。
遅刻３回で１回欠席とする。
１５分以上の遅刻は欠席となる。
日本人学生と留学生のペアワークおよびグループワークを行う。
ピア・ラーニングを行う。
プロジェクトワークを行う。
真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない.				

プリント資料及び参考文献

『留学生のための日本事情入門―１冊でわかる最新日本の総合的紹介―』桂島宣弘編　文理閣
『異文化理解入門』原沢伊都夫著　研究社
『インタビュープロジェクト―日本人の価値観発見―』山下早代子、小川早百合著　くろしお出版
『日本事情ハンドブック』水谷修、佐々木瑞枝、細川英雄、池田裕編　大修館書店
『21世紀の「日本事情」』21世紀の「日本事情」編集委員会編　くろしお出版
『日本ダテヨコ』学習研究社
『しきたり』国際日本語研究所編
『日本で暮らす』日本語ジャーナル編集部編　アルク

授業計画

第１回：イントロダクション
　授業の進め方および注意事項、スケジュール、教材、評価方法、自己紹介ゲーム等
第２回：『留学生のための日本事情入門―１冊でわかる最新日本の総合的紹介―』
　①覚えておきたい日本語の日常表現、他、ＤＶＤ
第３回：『留学生のための日本事情入門―１冊でわかる最新日本の総合的紹介―』
　⑤日本人の食生活、他
第４回：『留学生のための日本事情入門―１冊でわかる最新日本の総合的紹介―』
　⑥日本の春・夏、⑦日本の秋・冬、他
第５回：『留学生のための日本事情入門―１冊でわかる最新日本の総合的紹介―』
　⑧京都案内、⑨日本の祭り、⑩日本の名所、他
第６回：『留学生のための日本事情入門―１冊でわかる最新日本の総合的紹介―』
　⑪日本の芸能、⑫日本の芸道、他
第７回：『留学生のための日本事情入門―１冊でわかる最新日本の総合的紹介―』
　⑰現代日本の音楽・映画事情、⑱現代日本の大衆娯楽、⑳現代日本の若者文化、他、ＤＶＤ
第８回：中間期試験の実施およびその解説
第９回：プロジェクトワーク：テーマの選択、検討、決定
第10回：プロジェクトワーク：調査、資料収集、情報整理・分析
第11回：プロジェクトワーク：レポートの構成、執筆、作成
第12回：プロジェクトワーク：口頭発表の準備、ハンドアウト作成等
第13回：プロジェクトワーク：口頭発表１ディスカッション、評価
第14回：プロジェクトワーク：口頭発表２ディスカッション、評価
第15回：総復習および期末期定期試験の傾向と対策について、課題提出

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

指示された読みもの、調べもの等について、準備学習（予習）を、毎回２時間行ってください。
授業で学んだことを基に、まとめ等の実践学習（復習）および課題等を、毎回２時間行ってください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる。
仲間と協働して、物事を成し遂げることができ、他者との意見の違いや立場・考え方の違いを理解し、協力して物事を進めることができる。
必要な日本語能力およびコミュニケーション能力を身につけ、活用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考